

屏風から生まれた切手

小川 義博

切手趣味週間切手は発行されて70年、浮世絵に始まり、美人画、郵便錦絵等を原画に130種近く発行されてきた。そんな中で気になるのが、最近増えてきた屏風を原画とする切手の発行の姿である。屏風というサイズの大きな対象が原画だとは言え、10枚セットの発行が今後とも発行されていくのであろうか？ これまで屏風と切手についてあまり考えてこなかったし、関係記事も目にした記憶が無いので少し整理してみた。

屏風切手の多くが浮世絵切手のようにはっきりした特徴が無く、当然、屏風絵全体が切手に収められてない。カタログ、郵便会社の



円山応挙 竜虎図屏風

サイト等を検索してリストアップしたのが次ページの表1である。1950年発行年賀切手、円山応挙作竜虎図屏風に始まり、66年間54件の切手発行で121種の切手に57の屏風が

描かれている。経年変化をみると、屏風数には大きな変化は無いのに、切手数は多くなり、1隻の屏風から多くの切手を発行するようになった。

切手種類別では表3のように切手趣味週間の切手が一隻の屏風から多くの切手を発行していることが

表2 屏風切手の発行状況

年	件数	種類	作品
1950年	1	1	1
1960年	8	10	9
1970年	15	19	15
1980年	2	4	2
1990年	8	23	12
2000年	11	26	13
2010年	9	38	12
総計	54	121	64

わかる。特に、近年この傾向が強く見られる。切手趣味週間切手は浮世絵、美人画等から屏風絵へとシフトしてきている。今後、屏風絵の切手の発行が続くことを考え、どんな屏風が。

表3 切手種別屏風切手の発行状況

	件数	種類	作品
趣味週間	15	49	18
記念切手	15	33	16
シリーズ	12	20	14
文通週間	7	14	11
普通切手	3	3	3
ふるさと切手	1	1	1
年賀切手	1	1	1
合計	54	121	64

★屏風 豆知識

木枠骨格に紙、布を貼った四角のパネルを扇という。右から第一扇、第二扇と数え、これらを接続したのを屏風の一単位、一隻になる。扇の数を曲で表し、6枚の扇で描かれたもの六曲一隻という。二隻で対をなすとき、向かって右側の屏風を右隻、左側の屏風を左隻と呼び、六曲二隻、もしくは六曲一対と呼ぶ（2扇の場合は二曲一隻、二曲一対）。扇をつなぐ個所を和紙の蝶番と呼ぶ。奈良・平安時代は六曲が一般的で、各扇を革紐でつなぎ、扇ごとに縁をつけていた。鎌倉時代に和紙の蝶番が考えられ、前後に開閉可能になった。また、縁も一隻全体にめぐらされる様になり、屏風全体が一画面なる大画面が可能となった。14

世紀前半代に二隻（一対）を単位とする、六曲一対形式が定型となる。江戸時代に入ると二曲や八曲の屏風も出現した。



六曲一隻の屏風

表1 切手になった屏風の一覧

発行年	通称	屏風名	切手数
1950年	年賀昭和25年用	龍虎図屏風 円山応挙	1
1960年	奈良遷都1250年	麩鹿草木火燗屏風	1
1961年	1961切手趣味週間	舞踊図屏風	1
1962年	1962切手趣味週間	花下遊楽図屏風	1
1962年	第2次円単位	*風神雷神図屏風	1
1963年	1963切手趣味週間	本田平八郎姿絵屏風	1
1966年	第1次ローマ字入り	*風神雷神図屏風	1
1969年	第1次国宝シリーズ	紅白梅図屏風	2
1969年	第1次国宝シリーズ	松林図屏風	1
1969年	第1次国宝シリーズ	楡図屏風	1
1970年	万国博覧会'第1次	*燕子花図屏風	1
1970年	万国博覧会'第2次	夏秋草図屏風	1
1971年	第3次ローマ字入り	*風神雷神図屏風	1
1971年	政府印刷事業100年	*龍虎図屏風 橋本雅邦	2
1974年	列国議会同盟会議	愛染 屏風	1
1974年	UPU100年	扇面散貼付屏風	1
1975年	1975国際文通週間	孔雀葵花図 屏風	1
1975年	1975切手趣味週間	*松浦屏風	2
1976年	1976切手趣味週間	彦根屏風	2
1977年	1977国際文通週間	花鳥図屏風	1
1977年	1977切手趣味週間	機織図屏風	2
1977年	第2次国宝シリーズ	松に草花図屏風	1
1978年	第2次国宝シリーズ	納涼図屏風	1
1978年	第2次国宝シリーズ	滯標図 屏風	1
1979年	1979国際文通週間	深山大沢図屏風	1
1985年	国際放送50年	夜桜図屏風	2
1989年	ユーロパリア日本祭	阿国歌舞伎図屏風(京都所蔵)	2
1990年	馬と文化シリーズ	展図屏風	5
1993年	四季の花シリーズ	夏秋溪流花木図屏風	1
1993年	四季の花シリーズ	四季花木図屏風 渡辺始興	1
1993年	四季の花シリーズ	扇面貼付屏風芥子図	1
1993年	ポルトガル友好450年	南蛮人渡来図屏風	1
1994年	平安建都1200年	観楓図(屏風)	5
1994年	1994国際文通週間	土女遊楽図屏風	3
1995年	1995国際文通週間	月次風俗図屏風	1
1995年	1995国際文通週間	正月風俗図屏風	1
1995年	1995国際文通週間	*松浦屏風	1
1996年	1996国際文通週間	四季草花図小屏風	3
2000年	日蘭交流400年	寛文長崎図屏風	2
2002年	2002切手趣味週間	賀茂競馬図屏風	2
2003年	歌舞伎発祥400年	阿国歌舞伎図屏風2	1
2003年	能楽のまち延岡	延岡城下図屏風	1
2003年	江戸開府シリーズ	江戸図屏風	1
2003年	江戸開府シリーズ	江戸名所図屏風	1
2003年	2003切手趣味週間	羊木昂兆風 屏風	1
2004年	ロータリー国際大会	*四季花木図屏風 鈴木其一	1
2006年	2006国際文通	四季花鳥図屏風2	1
2006年	2006国際文通	四季花鳥図屏風3	1
2007年	郵便民営会社発足記念	*四季花木図屏風 鈴木其一	2
2007年	郵便民営会社発足記念	十二ヵ月花鳥図屏風	8
2008年	2008切手趣味週間	花鳥十二月月図 押絵張屏風	4
2010年	2010切手趣味週間	花鳥図屏風	2
2010年	ポルトガル修好150年	南蛮屏風	2
2010年	2010切手趣味週間	*龍虎図屏風 橋本雅邦	1
2011年	旅の風景シリーズ 第	*燕子花図屏風	1
2012年	2012切手趣味週間	春夏花鳥図屏風	1
2012年	2012切手趣味週間	龍虎図屏風 狩野山楽	1
2013年	2013切手趣味週間	四季花鳥図屏風	10
2014年	2014切手趣味週間	菊二鶴図屏風	2
2014年	2014切手趣味週間	梅桜小禽図屏風	2
2015年	2015切手趣味週間	桐鳳凰図屏風	4
2015年	正倉院の宝物シリーズ	鳥毛立女屏風	2
2016年	2016切手趣味週間	上杉本洛中洛外図屏風	10

*は複数回切手に発行された屏風 色付は詳細不明のもの

どのようにトリミング、補正されて切手になっているかを検討する必要があります。そのためには屏風の全体画像を知ることが不可欠だが、これが非常に困難で、著名なもの、有名美術館所蔵のものは、図録、各美術館等のサイトから知りえたが、残念ながら次の屏風5隻の情報は得られなかった。

①昭和25年用年賀切手 龍虎図屏風 円山応挙 所蔵先不明

②四季の花シリーズ芥子扇面貼付屏風芥子図 中村芳中 所蔵先不明

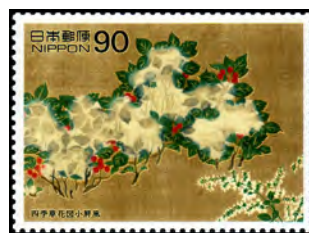


③2008年切手趣味週間 花鳥十二月月図 押絵張屏風 渡辺省亭 林原美術館



④1996年国際文通週間 四季草花図小屏風

尾形光琳 所蔵先不明



⑤日本・ポルトガル修好150周年切手 南蛮屏風 狩野道味 ポルトガル国立古美術館

①は国立印刷局すら屏風名を官報内容しか情報を持たず、③は所蔵館発行の図録もなく、戦前発行の書籍のみであった。⑤は幸いポルトガルを旅行した方のブログのスナップ写

真で外観を知ることができた。

したがって①～④を除いた57種(内、4種は複数回発行)の屏風がどのように切手に描かれているかを整理した。

◎トリミング ー屏風の視点ー

美術品としてサイズの大きい屏風がどのようにトリミングされているか。切手からの判断は難しい。そこで54種の屏風画像と切手を比較した。右隻、左隻に限定されたものは単一の屏風として考えた。トリミングが無く、全てが切手に描かれている屏風は少なく、切



1969年 第1次国宝シリーズ 紅白梅図屏風 二曲一隻



1977年切手趣味週間 機織図屏風 二曲一隻



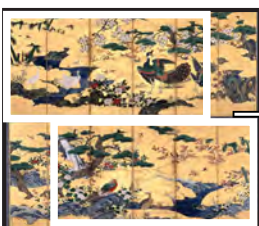
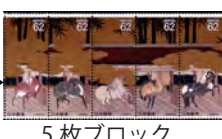
1970年万国博覧会'第2次 夏秋草図屏風 二曲一双



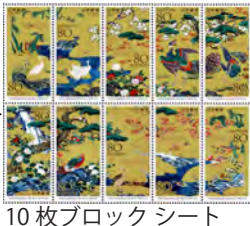
1994年 平安建都 1200年 観楓図屏風 六曲一隻



1990年 馬と文化シリーズ 厩図屏風 六曲一隻



2013年切手趣味週間 四季花鳥図屏風 六曲一双



手をみて、ほぼ屏風全体が描かれている判断できるのは左下に示す数隻に過ぎない。更に、ブロック、シートでもみても少ない。やはり、屏風全体を切手にするに二曲の屏風が限度であり、六曲屏風はシートでも切手シートが6列構成でないため一扇が省略されることになってしまっている。最近の切手シート構成が変化に富んできていることを考え、6列構成の行を持ち、プロ野球記念切手のように12種シート構成でトリミング無しの六曲のすべてを表す屏風切手を期待したい。

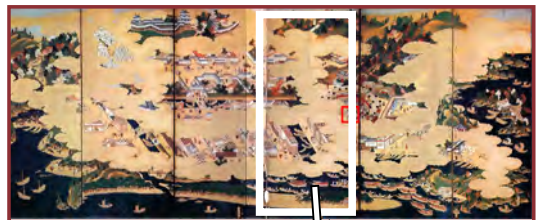
◎トリミング ー1枚の切手の視点ー

視点を変えて1枚の切手に、どのように屏風がトリミングされているかを整理した。やはり半数以上に見られるのが、扇を尊重し1扇の中だけでトリミングしたものである。正倉院宝物屏風のように1扇をすべて1枚の切手にしているものから、扇の中からさえ見つけるのに苦労するほどの微細部分をトリミングしたものまでみられる。

複数の扇にわたる図柄の切手は22の屏風でみられ、4扇、5扇にわたる図柄の切手は下、

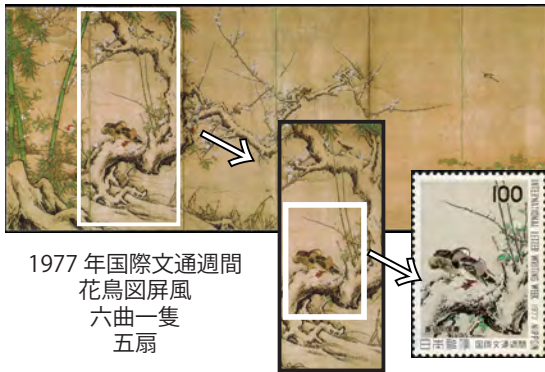


2015年 正倉院シリーズ 騰嶺(ろうけち)屏風



2003年 ふるさと切手 能楽のまち延岡 延岡城下図屏風 右隻三扇

微細部分が切手に



1977年国際文通週間
花鳥図屏風
六曲一隻
五扇



1989年
歌舞伎発祥
400年
阿国歌舞伎図
屏風
六曲一隻 三扇

右の3種に見られた。複数の扇に渡る切手では、避けられないトリミングがある。それは扇をつなぐ和紙の蝶番を示すスジ（以後、オゼと記す）をどのようにするかである。オゼを残した切手、消した切手の数は同数であった。更に、オゼを消して、オゼでない所に目打ちをした切手が2種あった。特に、2016年切手趣味週間の上杉本洛中洛外図屏風切手が注意される。これまで複数の切手で屏風を表現するときはオゼを目打ちにし、極力、原画を尊重することが一般的であったが、2016年切手趣味週間切手はオゼでないところに目打ちにし、更に、初めて、横に目打ちが入れていることである。今後、シートとして屏風を細分化して発行された時、



1969年第1次国宝シリーズ 檜図屏風4曲1双
右隻三四扇、左隻一二三扇、2隻にわたる珍しい例

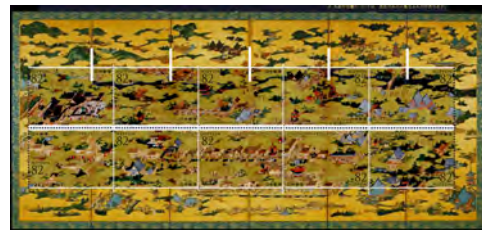


(左) 1971年
政府印刷事業100年
竜虎の図屏風六曲一双
左隻二三四五扇

(下)
2012年切手趣味週間
龍虎図屏風六曲一双
右隻一二三四五扇



オゼが消され目打ち、良く見るとオゼがある。



オゼが消されガッター、目打ちが入られている。

2016年切手趣味週間 上杉本洛中洛外図屏風
切手自体の図柄が1枚で切手に相応しい図柄に
できるのか、甚だ心配である。

◎絵柄のトリミング

オゼと扇から目を変えて絵柄の点からトリミングをみると非常に少なく3隻の屏風の絵柄をトリミングした下と次ページに示す切手だけであった。また、屏風に木版画を加えた切手が1種特異な形で屏風が描かれていた。

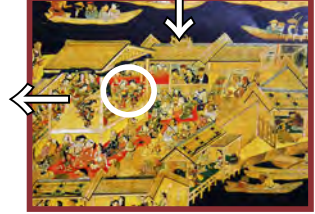
(右)
1962年切手趣味週間
花下遊楽図屏風
左隻三四扇のオゼを
消し周囲の踊り手
を消去





(左)
1960年奈良遷都1250年
麟鹿草木文襷屏風の
上下の絵柄の配置を変更

(下) 1963年切手趣味週間
本田平八郎姿絵屏風
一扇に描かれた人物を半
数にカット



2003年江戸開府400年シリーズ切手に部分と表示されても八曲の一双の大きな屏風から探し出すのは至難である。江戸名所図屏風 八曲一双 左隻三扇の左中央部に舞台上で踊っている人物二人を見つけられる。2010年以降の屏風切手にはすべて作者名が記されている。作品名、作者の点で注意されるのが2種の花シリーズ切手の記載である。作者名は姓はなく、作品名でなく花の名が記され屏風の存在はまったく無視されている。もっとも、なぜ、一輪の花をこの大きな屏風からあえてトリミングしなければならなかったのかという点にまで疑問を感じる。

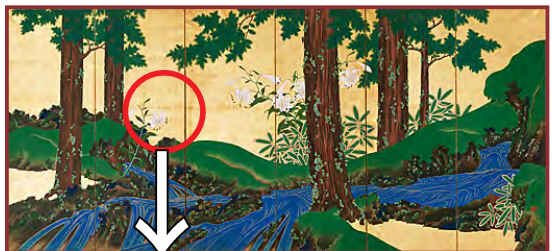
また、屏風名とトリミングした絵柄の併記が1994年国際文通週間切手のように「士女遊楽図屏風・双六」と言う記載も数種の屏風にみられる。また、1998年国際文通週間切手に初めて見られたトリミングを明記した「(部分)」表記が2002年切手趣味週間賀茂



2000年日蘭交流400年寛文長崎図屏風左隻一二扇に木版筆彩「阿蘭陀人の図」を加えた。帆船の原画は不明

◎屏風名、作者は切手に記されてるか

屏風切手には屏風名、作者、絵柄の位置等が記されている。この記され方が非常に複雑である。まず、屏風名は半数の切手に記されており、国宝、正倉院シリーズと1990年以降の国際文通週間、1985年以降の切手趣味週間の切手には作品名が記されており、記念切手は江戸開府400年切手を除き記されていない。作者名は作者不明が多く明確に言えないが、1980年以降の切手趣味週間に倣い



1993年四季の花シリーズ切手
鈴木其一筆
夏秋溪流花木図屏風
作者 鈴木其一の姓は省略
「其一」と記され、作品名は「百合」と誤解されそうな記され方。



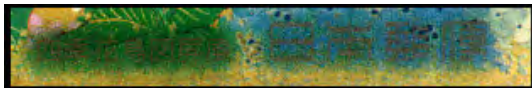
1994 国際文通週間切手 士女遊楽図屏風
切り抜いた場面の遊戯内容を表示

競馬図屏風切手以降に見られるようになり、屏風へのイメージを持てるが、部分と言う言葉にそぐわないような極小部分が切手になっている。

文字表記を調べていて、とんでもない切手に出くわした。屏風名が表記されている筈が印刷の拙さで読めない。どんなに拡大しても判読できない。更に、郵便会社、郵趣協会のHPで確認して驚いた。発行されたのと異なる画像が掲載されている。どちらも異なっていることを意識してか「このページの情報は、発売当時のものです」と但し書きがしており、黒字で鮮明に屏風名が表記されている切手が目に飛び込んでくる。更に、シート画像に到っては切手内の文字表現にとどまらず



2006年 国際文通グリーティング切手 四季花鳥図屏風をトリミング（陽明文庫蔵他に同名屏風に京都国立博物館蔵あり）



日本郵便は判別可、その前の四季花鳥図屏風は不可



購入したシート画像



2社のHP上のシート画像

日本郵便、日本郵趣協会のHPの新切手ニュースで表示されている屏風名を鮮明に表示した切手画像、さらにシート画像を比較



シート下部のシール部分の刷色だけでなくデザインまで異なっている。2社のHPの訂正を期待する。

◎同一屏風から複数の切手

五隻の屏風から複数の切手が生まれている。普通切手3種類になっている風神雷神図屏風以外の屏風は2種類の切手になっている。

まず、2種類発行されたおかげで松浦屏風は全体（左隻）が切手になっている。次に注意されるのが同じ屏風をほとんど同じトリミング



1995年国際文通週間 1975年切手趣味週間の切手2種で松浦屏風の左隻全体となる。



松浦屏風右隻



橋本雅邦筆、竜虎の図六曲一双屏風 左隻の部分
が1971年政府印刷事業100年切手と2010年切手趣味週間切手になった。
左・階調凹版 右・グラビア印刷



グした切手である。しかし、彩色と印刷方式が異なると、気がつかずに見過ぎてしまう。

燕子花模様の繰り返しの屏風から切手にトリミングされた個所を探すのはジグソーパズルの様である。さらに、鈴木其一筆四季花木図六曲一双屏風は2件の発行で3種の切手になった屏風である。2種の切手がトリミングされた右隻をシートの背景に用いられている珍しいトリミングの例である。



鈴木其一筆 四季花木図六曲一双屏風。
2004年ロータリー国際大会、2007年郵便民営会社発足記念切手となり、2007年の民営化記念ではシートの背景になっている。

また、トリミングの範囲がかなり重複して切手になっている屏風があり、同じ作者の別の屏風が1種同時に発行せられており、同じ屏風でなぜトリミングしなかったのかと考えてしまう。



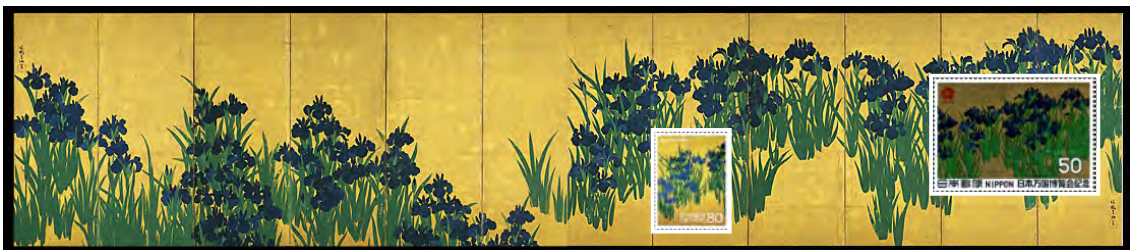
橋本雅邦筆 花鳥図六曲一双屏風 縦にダブってトリミングされて2010年切手趣味週間切手2種が発行され、同時に、左のトラと一緒に吠えて発行された。

◎おわりに

浮世絵と異なり大きな屏風を小さな切手にするために、いろいろ問題があることを再認識できた。まず、宿命のトリミングをした屏風を明確に表示する必要がある。屏風名と部分利用の表示は不可欠と考える。この文を書いている時、6曲屏風が6種でとんでもない切手で発行されることを知り、書き続ける意欲を無くしてしまった。金雲に覆われる切手収集家を暗示するような屏風切手である。



春夏花鳥図屏風 特別切手帳として500円切手6種で2017.3.17に発行。なんと料額合計3000円の切手帳が5000円で3万部。郵便事業赤字補てんになりふりかまわぬ切手発行。屏風では隠せんし、金雲が気になる動き。



尾形光琳筆 燕子花図六曲一双屏風
2011年旅の風景シリーズ 根津美術館,1970年万国博覧会第1次切手になった。

下記の屏風を探索に失敗していました。

1974年 発行 沖縄海洋博覧会募金 平福百穂筆 2曲1双の屏風 荒磯
東京国立近代美術館所蔵

